

TAKE FREE
ご自由にお持ちください

うぐいす



令和元年7月27日(土)に行われました、「第47回千厩夏まつり」に当院も参加いたしました。

好評につき今年も表紙を飾りました、出陣前の浴衣姿の「男性陣」と看護師の皆さんです。普段の仕事姿も素敵ですが、浴衣姿もまた粋で艶やかですよね。

参加した職員の感想が8ページに掲載されております。お楽のしみに！



- | | |
|--|-----------------|
| 1 P 表紙 | 4 P 部門紹介 臨床工学技士 |
| 2 P 地域医療懇談会
トピックス1 (小羊幼稚園慰問など) | 5 P AEDについて |
| 3 P 職員紹介 事務局長 (ご挨拶)
トピックス2 (磐井病院研修医との交流会など) | 6 P 行事予定など |
| | 7 P レスパイト入院について |
| | 8 P 千厩夏祭りに参加して |



令和元年度 地域医療懇談会

令和元年6月19日（水）



令和元年度地域医療懇談会は、一関市役所千厩支所を会場に開催しました。地域住民はじめ、行政関係者、医療・福祉機関の職員など63名の方が参加されました。

はじめに宗像秀樹院長が「千厩病院の今」と題し、今年度の常勤医・応援医師の診療体制の紹介のあと、病院の現状として、救急の受診や回復期リハビリ病棟や包括ケア病床の状況について講演しました。続いて塩井義裕副院長心得が腹腔鏡手術や救急医療体制について、畠山貴史医療社会事業士が医療社会福祉相談室のご紹介、佐々木嘉恵副総看護師長がレスパイト入院について発表しました。



来場者からは、「看護師のユニフォームの色の違いは?」「レスパイト入院は介護保険申請をしていないと入院できない?何日入院できるの?」「休日や夜間のこどもの受診はどこに相談したらいいの?」など、たくさんの質問が寄せられ、活発な意見交換が行われました。

これからも、地域に密着した病院として、基本理念「すべての人びとに安らぎと希望を」のもとに取り組みを進めて参りますのでご理解とご協力をお願いいたします。

地域医療福祉連携室

ピックアップ

ふれあい看護体験

「看護の日」の令和元年5月10日（金）、当院で高校生を対象に「ふれあい看護体験」が行われました。患者さんとのふれあいを通じて、「看護の心」を伝え、看護の仕事に関心を持っていただきたいという目的で行われています。今年は一関第一高等学校・千厩高等学校・花泉高等学校の2・3年生計12人の参加がありました。

当院看護師の講話、グループごとに分かれて手洗いの実践、入院患者さんのケアなどを体験しました。当院では看護体験・職場体験等、中・高生を受入れを今年度4回予定しております。皆さんの医療の職につきたいという夢の実現に向けお手伝していきたいと思っております。



小羊幼稚園慰問

6月の第2日曜日はキリスト教の「花の日」とされており、毎年、千厩小羊幼稚園の皆さんが当院に慰問のため訪れます。今年も6月6日（木）に園児・職員の皆さんが当院を訪問してくださいました。入院患者さんや職員を前に、元気に歌やお遊戯を披露した後、元気な声で自己紹介などがありました。その後、各家庭から持ち寄った花を患者さんにプレゼントしていただきました。花を受け取った患者さんや職員は満面の笑顔になり、園児たちと和やかなひと時を過ごしました。



「うぐいす」

事務局長 板倉 宏樹



平成最後の月となった4月に着任しました事務局長の板倉と申します。どうぞよろしくお願いいたします。これまでは、県北・沿岸での勤務が多く、県南内陸部での勤務は初めてとなります。

さて、広報誌「うぐいす」ですが、当院の広報誌の名前ということは、赴任早々から知っていましたが、なぜ「うぐいす」なのかはわかりませんでした。春先に宗像院長が「今年もウグイスが鳴き始めましたね」と言っていましたし、病院周辺でもウグイスが鳴いていましたので、このためかなと思っていましたが、いろいろ聞いたところ、千厩町の鳥がウグイスであったことが由来のようです。

平成11年10月に当時の菅野院長が第1号を発行して以来、ちょうど20周年目となります。時代も移り変わり、元号も令和となりましたが、10年以上前から当院の最大の課題は「医師確保」です。菅野院長の時代に18人いた常勤医師は、現在8人と半分以下となりました。宗像院長は、大学の医局を訪問して医師の派遣を要請していますが、大学の医局でも医師は潤沢にはいないようです。

もし、ご家族やお知り合いに医師がおられ、当院での勤務にご興味があるようでしたら、ご一報いただきたいと存じます。私も院長と共に、医師確保に努めて参りますが、地域の皆様方からの情報提供も医師確保に繋がる重要な要素です。よろしくお願いいたします。



トピックス 2

東磐井盆栽展

6月10日(月)から12日(水)まで、東磐井盆栽会の皆さんによる、丹精込めて育てた盆栽の展示会が今年も中庭で開催されました。

平成9年から毎年、サツキなどが咲き揃うこの時期に開催しており、診察にいらした患者さんや職員が、思わず見入ってしまう見事な作品の数々に感激していました。



磐井病院研修医との交流会

7月30日(火)に、磐井病院横沢聡医療研修科長と研修医8名が当院を訪問し、昨年度から開催されております当院の医師との交流会が行われました。

まず当院の宗像秀樹院長より千厩病院のドクターの実情を中心にオリエンテーションがあり、千厩病院を地域医療研修施設として是非選択して欲しい等の要望がありました。それから当院医師、研修医と昼食を共にしながら交流を深めました。



臨床工学技士 ～いのちのエンジニア～

今回は千厩病院で勤務している臨床工学技士を紹介致します。

✦もしかしたら臨床工学技士という名前を初めて聞いた方もいるかもしれません。

臨床工学技士は1987年に誕生した比較的新しい国家資格です。今年で誕生して32年になります。臨床工学技士になるには大学等の養成校を卒業し、国家試験に合格する必要があります。全国には約25000名、岩手県には約200名、その内岩手県立病院では中央病院、大船渡病院、釜石病院、宮古病院、磐井病院、遠野病院、久慈病院、江刺病院、千厩病院、中部病院、二戸病院の11病院に51名の臨床工学技士が勤務しています。臨床工学技士の就職先はほとんどが病院ですが、医療機器メーカーに就職し開発や設計に携わる方もいます。

次に病院でどのような仕事をしているか紹介します。

院内では医師、看護師などさまざまな資格の方が活躍されています。それぞれの資格には国が定めた法令というものがああり、その法令の範囲で仕事を行っています。臨床工学技士は医療系国家資格の中で唯一、法令に「医療機器の保守点検」と記載されている資格です。そのため院内では医療機器の操作や管理、保守点検を行っています。

病院ではさまざまな病気の治療、手術を行います。その際専門的な医療機器が必要になります。臨床工学技士は医療機器の専門的知識をいかし治療、手術が安全に行われるよう医療機器の操作を行います。例えば心臓手術や不整脈治療、血液透析、人工呼吸器などです。これらは生命に直結する医療機器の操作ですので、経験と責任が求められる重要な仕事です。また院内には血圧計や点滴をする医療機器など、たくさんの医療機器があります。それらの医療機器をいつ購入し、どの部署にあるのか、適切に使用されているか等の管理も行います。

そして最も重要なのが医療機器の保守点検です。患者さんに使用する医療機器に故障や不具合が起きないように、安全に医療機器が使用できるように保守点検を臨床工学技士が行います。院内全ての医療機器の保守点検をするわけではなく、主に病棟・集中治療室・救急・外来・手術室などの医療機器を担当しています。保守点検をわかりやすく例えると自動車の車検のようなものが医療機器にもあります。自動車が車検で部品交換や動作点検を行うように、医療機器も定期的に部品交換や動作点検を行います。我々が実際に工具などを使って自動車の整備士のように医療機器の点検を行うことから「いのちのエンジニア」とも呼ばれています。

岩手県立千厩病院は平成14年より臨床工学技士が1名勤務しております。主な業務は血液透析、ペースメーカー外来、医療機器保守管理などです。また平成26年より長年の課題でありました1名勤務の対策として、同じ両磐圏域の県立磐井病院からの兼務となり1ヶ月交代で業務を行っています。



以上簡単ではございますが臨床工学技士の紹介をさせていただきました。冒頭で説明したように院内にはさまざまな職種がございます。どの職種も安全で適切な医療を提供できるよう日々尽力しております。同様に臨床工学技士もチーム医療の一員として安全で適切な医療の提供に寄与したいと考えております。

掲載しているマスコットは「シープリン」という名前で、日本臨床工学技士会マスコットキャラクターです。毎年、ゆるキャラグランプリにもエントリーしています。ご興味がある方は一般社団法人日本臨床工学技士会のホームページをご覧ください。



AEDについて

AEDは、Automated External Defibrillatorの頭文字をとったもので、日本語では自動体外式除細動器といいます。小型の器械で、体外（裸の胸の上）に貼った電極のついたパッドから自動的に心臓の状態を判断します。もし心室細動という不整脈（心臓が細かくブルブルふるえていて、血液を全身に送ることができない状態）を起こしていれば、強い電流を一瞬流して心臓にショックを与えること（電気ショック）で、心臓の状態を正常に戻す機能を持っています。器械の電源を入れれば音声を使い方を順に指示してくれるので、誰でもこの器械を使って救命活動を行うことができます。（日本心臓財団 HP より）



千厩病院にはAEDが現在6台設置されています（総合受付、外来、病棟など）。現在新しいAEDに更新を行っております。新しいAEDは機器の状態をインターネット上で監視することができます。インターネット上で監視することで機器のトラブルを未然に防ぐことができ、もし機器に異常が発生した場合でも、いち早く対応することができます。千厩病院と同じ圏域の磐井病院臨床工学技術科からも監視しています。

磐井病院 臨床工学技術科 主任臨床工学技士 高山 秀和

救命の手順 JRC蘇生 ガイドライン 2015

今回AEDを使った「救命の手順」を掲載しました。

消防署や自治会などで救命講習会などが開催される時はすすんで参加頂きたいと思っております。



感謝状が贈られました

当院の長年にわたる献血の推進に積極的な協力に対して、岩手県知事及び日本赤十字社岩手県支部長より表彰されました。

令和元年7月31日(水)サンセール盛岡におきまして、感謝状の贈呈式が行われ、板倉事務局長が招待されました。功績概要は「19年の永きにわたり積極的に献血に協力している。年2回の協力を行っており、全血献血における400ml献血協力者の割合が9割を超えている。献血の理解が深くほかの模範となっている」とのことです。

地域住民の皆さんにもご協力をいただき感謝しております。今後とも引き続き献血にご理解とご協力をお願いいたします。



感謝状は当院正面玄関風除室に飾られております。

イラストが飾られることになりました



当院ボランティア「朝顔のたね～千厩病院を守り隊～」の企画で千厩在住でイラストや小物を製作し、ritmo(-リトモ-)という名前で活動している佐藤紀子さんのイラストを院内に飾って頂けることになりました。

『ふっと目にした時、患者さんやご家族の皆さんの心が和むようなイラストだと思います。皆さんでご覧いただけますように・・・』

遠藤育子会長より

飾られている場所として、1階は休憩スペース側・公衆電話の所、2階は小児科前キッズスペースと各病棟ラウンジに9月中旬くらいから飾られる予定です。

素敵な空間になると思います。皆さんどうぞご覧ください。

令和元年9月20日(金)

「慰問の会」

15時から1階待合ホール

千厩病院福祉ボランティアの皆さんを中心に千厩女性部の踊りや歌等がご披露されます。

どうぞご覧ください。

令和元年9月24日(火)

「花と風を愛でる会」

15時から中庭

当院ボランティアの皆さんへの花壇整備等の日頃の感謝と患者さん・ご家族、職員等と親睦を深めながらの懇談会が開催されます。皆さんご参加ください。

レスパイト入院のご案内

●●レスパイト入院とは

在宅療養中に、一時的に在宅介護が困難になった場合※1や、介護者の肉体的・精神的負担（介護疲れ）の一時的軽減を希望された場合に短期間で入院が利用できます ※1：介護をしている家族等の病気や事故、冠婚葬祭などのご事情により

●●ご利用できる方

医療処置が必要で、介護保険によるショートステイの利用が困難な方

- ガンの疼痛管理
- 夜間も吸引が必要
- 点滴が必要
- 胃ろう、経鼻での栄養が必要
- 在宅酸素管理をしている
- 気管切開をしている
- 褥瘡処置がある など

●●レスパイト入院の基本ルール

- 入院期間は、原則10日以内です
- 自宅に退院される方に限ります
- 在宅介護が続けられる方
- レスパイト入院中は、原則リハビリは行いません
- 内服薬は、ご持参いただき継続使用します
- 入院費用は診療報酬（保険診療）に基づき計算します
- 有料個室もご利用になれます
- 急を要するもの以外は検査を行いません
- レスパイト入院中に病状が悪化した場合は、通常の治療入院となることがあります

●●お申し込み

当院かかりつけの方は、担当診療科外来にご相談ください
他院にかかりつけの方は、地域医療福祉連携室にご相談ください



今年の夏まつりは天候が心配されましたが、千厩病院も参加することができました。そこで参加した職員の感想をご紹介します。



千厩夏まつり 第47回

7月27日(土)に開催された千厩夏まつりに初めて参加させていただきました。当日は気温も高く蒸し暑い天気でしたが、子どもから大人まで幅広い世代の方々に賑わっていました。たくさんのユニークな山車が練り歩き、商店街のいつもの一味違った雰囲気を感じることができ、楽しい時間を過ごすことができました。千厩音頭と千厩小唄という2つの踊りがあり難しかったですが、病院の練習と当日実際に踊ってみてなんとか覚えることができました。普段とはまた別のかたちで地域の方々と触れ合うことができ、貴重な体験でした。これからも地域の方々と交流を深め、地域活性化に貢献していきたいです。

薬剤科 薬剤師 小野寺 祥子



7月27日(土)に開催された千厩夏祭りに初めて参加させていただきました。たくさんの方々が祭りに参加し、商店街も賑わっていました。私は生まれが厳美で一関夏祭りにしか足を運んだことしかありません。今回他の地域の祭りに参加したことや、初めて浴衣を着たこと、踊りをしたことなど、貴重な体験をすることができました。地域の方々の楽しむ様子が見受けられ、私自身も楽しい気持ちで参加させて頂きました。今後も行事等を通じて、地域の方々とたくさん触れあい、地域にも貢献できたらと思います。

看護科 看護師 小岩 椋



「すべての人びとに安らぎと希望を」岩手県立千厩病院

復興と再生へ

~Together As ONE~

再生への願い【若草リボン】

<http://www.senmya-hospital.jp> Email:EA1012@pref.iwate.jp

〒029-0803

岩手県一関市千厩町千厩字草井沢32番地1

TEL 0191-53-2101

FAX 0191-52-3478

編集・発行 岩手県立千厩病院広報委員会